



サルスベリ（百日紅）

撮影日：8月11日 秋田市 民家敷地内

🌱 目次

生産現場情報：「JAンビニANN・AN」が新たな体制でリスタート！・・・・・・・・・・P2～3

営農支援情報：獣害対策に効果を発揮する電気柵について・・・・・・・・・・P4

ご紹介：①秋田ノーザンハピネッツへ秋田米贈呈！・・・・・・・・・・P5

②ブラウブリッツ秋田の選手と一緒に稲刈りしました！・・・・・・・・・・P6

～ブラウブリッツ秋田×JA全農あきた「元気わくわくキッズプロジェクト」～

③JA-POP甲子園2020～秋田県から3店舗が表彰～・・・・・・・・・・P7

④エコベコバッグお絵描きコンクール開催！・・・・・・・・・・P7

お知らせ：生産者×JA共同購入トラクター絶賛好評販売中！・・・・・・・・・・P8

「JAンビニANN・AN」が新たな体制でリスタート！

1. ベっけANN・AN

2007年（平成19年）にオープンした「JAンビニANN・AN」（ジャンビニ アン・アン）が、2020年（令和2年）4月30日から新たな体制のもとでリニューアル・オープンしました。

オープン当初からJA秋田やまもとが運営してきましたが、この春からは三種町内の女性5名から組織された「ベっけANN・AN」（代表 泉 牧子氏）を新たな運営主体として、リスタートしました。

店舗は、これまでと同様に三種町鹿渡のJA秋田やまもと本店敷地内の国道7号線沿いに位置しています。



JAンビニANN・AN店舗

2. こだわり

新たなJAンビニANN・ANでは、農家が丹精を込めて栽培したお米や野菜、味噌を使ったお弁当やおにぎり、パンなどを店内工房で手作りし、原点に立ち返り、女性ならではの目線で、手作りしと地産地消を大切にして地域と一体となった元気づくりの拠点となれるようなお店を目指しています。ここではこだわりの商品及び取り組み等のほんの一例をご紹介します。



人気の米粉パン

- 米粉パン（不動の人気商品）
- 米粉100%パン（毎月第1土日限定）
- 旬野菜たっぷりのお惣菜
- お弁当（ご飯はお好きな量で）
- おにぎり（7種の具材からチョイス）
- 地元産手作り無添加味噌と旬野菜等を使用した「特製みそ汁」の販売
- 泉製麺（米粉麺）、かわい農場（豚肉）、児玉畜産（卵）、こまち食品工業(株)（無農薬野菜）、

- 田中昆布加工所（煮干し・昆布）、Bonheur A. Tamori（お菓子）、JA女性グループ（野菜・豆板醤・梅・しいたけうどん）など地域内企業との協力による新商品開発
- 県内他地域から選りすぐりのこだわり加工品をも販売する「6次化商品コーナー」の新設（いぶりがっこ、すいか糖、百花蜜、乾燥しいたけ、白神癒楽里茶（ハーブティー）、手作りサルサソース、桔梗と玄米のコーヒー、白菜キムチなど）
- 管内小中学校の学校給食への食材の提供

3. これまで、そしてこれから

JANBINA ANN・ANがリスタートしてから約半年が経過しましたが、代表の泉 牧子さんにこれまでを振り返っていただいたところ、「がむしゃらに走ってきましたが、あっという間の半年だったような気がします。この間、JAや地元の期待を裏切らないよう、旬のもの、手作りに心がけ、手抜きをしないように努めてきました。売れ筋商品はいろいろありますが、米粉入りパン・米粉100%パンはもちろんのこと、手作り弁当も好評を得ています。特に、お弁当（部活弁当）は週末の土日には小中学校の交流試合などで150～200個ほど注文が入る時もあり、地元のグランマシスターズなどの応援も得ながら対応しています。また、小麦アレルギーを抱えるお子さん向けに米粉パンを買い求める親御さんも多いです」と語ってくれました。取材時は、稲刈りも終盤のお昼前でしたが、お弁当を買いに軽トラックで来店する農家のお父さんなどが多くいました。

これからの展開については、「新たに味噌の製造・販売など、地域に密着した加工品の開発に積極的に取り組んでいくほか、べっけANN・ANの経営基盤の強化と持続的な発展に向けて法人化を考えています」と前を見据えていました。



こだわり調味料・6次化商品コーナー



豆板醤・サルサソース・百花蜜



店内工房



手作り弁当（ご飯の量はお好みで）

営業時間 月火木金 9:00～15:00
 土日 9:00～18:00
 定休日 毎週水曜日
 問合せ先 JANBINA ANN・AN
 ☎0185-87-3002

営農支援部 営農支援課 ☎018-864-2461





獣害対策に効果を発揮する電気柵について

野生鳥獣による農作物の被害額は、毎年45,000千円前後発生し、生産現場では見過ごすことのできない問題となっており、その対策として電気柵がかなりの効果を発揮します。本号では、(株)アポロ製の電気柵を例にその特徴などについてご紹介します。

○安全で確かな効果を発揮

農作物を荒らす動物に電気ショックを与えて追い払います。一度電気柵に触れた動物は強いショックを受け、「電気柵は危険」と学習し、その後電気柵に近寄らなくなります。人が電気柵に触れた場合、多少の刺激は感じますが、人体に害があるものではありません。ただしペースメーカーや除細動器の装着者は電気柵に触れると機器の動作に影響を与えるおそれがあるため注意が必要です。

○豊富な電源種類

①乾電池、②自動車用12Vバッテリー、③AC100V、④ソーラー式の4種類がありますが、ソーラーパネル式は電気代や電池代がかからないので便利です。

○設置は簡単

大きく分けて、①ポール（支柱）にフック碍子などを取り付ける、②ポールを地面に打ち込む、③ヨリ線（通電線）を通し、柵線を張っていく、④電源システム本器を設置し、ヨリ線と接続する、⑤通電を確認する の基本的な作業で設置は簡単です。

○日頃の管理

ヨリ線（柵線）と雑草が接触すると漏電したり電圧が低下して本来の効果が発揮できなくなるため定期的な草刈りが必要です。

○部材等の選定

動物の種類、柵線の長さ（外周）、段数などに応じて、電源の種類、ポール（長さ、太さ、材質）やヨリ線（長さ、太さ）等の部材を選定できます。なお、動物の種類に応じた電源・距離別セット商品もあります。



(注) 価格等については、お近くのJAまでお問合せください。また、商品の詳細等については、(株)アポロのホームページ (<http://www.apollo-area.jp>) をご覧ください。



秋田ノーザンハピネッツへ秋田米贈呈！

J Aグループ秋田・J A全農あきたは、プロバスケットボールB.LEAGUE B1東地区に所属する秋田ノーザンハピネッツを2020-21シーズンもオフィシャルパートナーとして応援しています。



左から) 秋田ノーザンハピネッツ株式会社水野勇気代表取締役社長・古川孝敏選手・J A全農あきた小林和久県本部長



続けたい。」と意気込みを語ってくれました。

今シーズンも秋田県産農畜産物の認知度向上と消費拡大のため、J Aグループ秋田「うまいもんみつけた!」のコーナーでPR活動を実施しています。

ホームゲームの会場内でLEDビジョンから選手たちが秋田県産農畜産物をPRしてくれるほか、PRした農産物はファンクラブ抽選会の賞品としてプレゼントしています。

10月17日～18日のホームゲームを前にJ A全農あきたでは新米の秋田県産あきたこまち300kgを贈呈しました。J A全農あきた小林県本部長は「全県の農家さんが丹精込めて作った秋田米を食べてリーグ優勝目指して頑張ってください」と激励しました。

新米あきたこまちで作ったおにぎりを試食した古川孝敏選手は「お米が輝いて見えた。食べて幸せになるようなお米そのもののおいしさがあった。あきたこまちを食べてワンシーズンどんどん勝ち



10/17～18のホームゲームでは古川選手があきたこまちをPRしてくれました!

ブラウブリッツ秋田の選手と一緒に稲刈りしました！

～ブラウブリッツ秋田×J A全農あきた「元気わくわくキッズプロジェクト」～



サッカーJ3リーグのブラウブリッツ秋田とJ A全農あきたが「次世代を担う子どもたちの健全な育成」を目的に平成27年から実施している「元気わくわくキッズプロジェクト」の稲刈り体験を10月10日に開催しました。

今回参加してくれたのはブラウブリッツ秋田のスクール生7人。ひとりずつ鎌を持ち、慣れない手つきで始めた子供たちも最後には、上手に刈り取ることができ、笑顔で楽しかったと話してくれました。



この日収穫された「秋田県産あきたこまち」の新米は、10月18日の秋田市ソユースタジアムで開催されたJ A全農あきたPresentsサッカーJ3「ブラウブリッツ秋田V S 藤枝MYFC」戦で両チームにそれぞれ150kgずつ贈呈しました。



大型スクリーンで秋田米CMを放映しサポーターにPRしました。

試合当日は、来場者に新米「秋田県産あきたこまち」の小袋とオリジナルペットボトルホルダーをプレゼントしたほか、合計80名様に「しゃぶしゃぶセット」「きりたんぼ鍋セット」「りんご」「新米秋田県産あきたこまち」が当たる抽選はがきを配布しました。J A全農あきた小林和久県本部長は「秋田の食で選手のみなさんを精一杯サポートします。J2昇格に向け、優勝目指して

J Aグループ秋田・J A全農あきたは、秋田県内のプロスポーツチームのオフィシャルパートナーとして応援するとともに、スポーツを通じた地域の活性化と県産農畜産物のPR活動に努めています。

J A - P O P 甲子園 2 0 2 0

～秋田県から3店舗が表彰～

J A 全農は、J A 資材店舗の活性化による組合員満足度の向上と春の当用期における実績拡大を目指し、農薬や肥料の店舗内陳列・P O P を競い合う「J A - P O P 甲子園」を実施しました。この



優秀賞（自由創作部門）とベストナイン賞に輝いたJ A 秋田ふるさと大雄営農センターのみなさん

「J A - P O P 甲子園」は、J A 全農の購買事業部門が企画する最大規模の大会となっており、今年は全国から446店舗（135J A）が参加しました。

秋田県からは、3店舗（2J A）がエントリーし、自由制作部門で3店舗（2J A）が受賞しました。また、過去20回を通して全国で優秀な成績を収めたベストナインが表彰される「ベストナイン賞」にJ A 秋田ふるさと大雄営農センターが選ばれました。

「J A - P O P 甲子園 2 0 2 0」秋田県受賞店舗	
<p>【自由創作部門】</p> <p>優秀賞 J A 秋田ふるさと 大雄営農センター</p> <p>審査員賞 J A 秋田なまはげ 雄和グリーンセンター</p> <p>新人賞 J A 秋田なまはげ 若美グリーンセンター</p>	<p>【ベストナイン賞】</p> <p style="text-align: center;">*過去20回を通して全国で優秀な成績を収めたベストナイン</p> <p style="text-align: center;">J A 秋田ふるさと 大雄営農センター</p>

エコベコバックお絵描きコンクール開催！

秋田県牛乳普及協会は、新型コロナウイルス感染拡大防止から開催を見合わせた「わくわくモーモースクール」に今年度参加予定だった県内3小学校の児童を対象に「牛乳・乳製品・酪農・乳業」に関する図画を募集するエコベコバックお絵描きコンクールを開催しました。

子どもたちからは、白地のトートバックにクレヨンやクーピー等で絵を描き、自由に色を塗ったカラフルな作品が届きました。ひとつひとつの作品に「芸術の解放で賞」「フリーダムゆるかわ賞」「かっこいい配色で賞」など、それぞれオリジナル賞をつけています。



カラフルでかわいらしいトートバックに世界でたったひとつのオリジナル賞がつけられました！



J A 全農あきた職員の子どもたちも参加しJ A ビル1 F ロビーに展示されました。

生産者 × JA **全国1万人の声を反映した**
共同購入トラクター

絶賛好評販売中!!

受付締切:11月末まで



ホイール仕様
YT357J,ZUQH

ハーフクロウ仕様
YT357J,ZDUQH

**共同購入
トラクターの
主な機能**

POINT_01 小回りできる 倍速ターン	POINT_02 わずらわしい操作が不要 オートブレーキ	POINT_03 均一な圃場に仕上げる 自動水平制御・自動耕深制御
POINT_04 様々な作業機が使える 前・後進16段	POINT_05 給油無しで概ね1日作業可能 燃料タンク56L	POINT_06 快適・安全作業 キャビン・エアコン

※3測定値:エンジン定格回転2,500rpm、PTO=1速、ロータリー幅2.0m、耕深15cm

JAグループからのおねがい

■受注生産につき、納品時期は担当者へご確認ください。

■2020年11月までにご注文下さい。【お問合せは、最寄のJAまで】

Za・あぐりふおーむ
Zennoh-akita agriculture+reform



JA全農あきた営農情報誌 Za・あぐりふおーむ
第9号 令和2年11月5日発行

編集・発行 JA全農あきた営農支援部営農支援課 〒010-8558秋田市八橋南2丁目10番16号 018-864-2462